

年末から年始にかけて

今日は1月11日。朝から雨である。年末から年始にかけて好天が続き、朝焼けの空がきれいだった。写真上は1日7時17分、下は3日7時20分。毎朝「定点観測」を続けている生駒山あたりの朝焼けは、同じようで違っている。つい写真に撮りたくなる。

珍しく年末に原稿を頼まれ、昨日なんとか原稿を書きあげて出版社に送った。内容はともかく、原稿締め切りだけは厳守してきた。今回も期限を守ることができた。毎朝書いているレポートのおかげでもある。すこしだけ紹介しよう。



テーマは「大阪・関西万博の構想と現実」であり、次のような構成(骨子)とした。

- ・大規模プロジェクトと地元負担膨張の構図
- ・万博誘致と愛知万博の教訓
- ・大阪万博とコロナ禍の逆風
- ・大阪・関西万博「基本計画」を読む
- ・万博の環境影響評価
- ・夢洲開発の推移と現在
- ・夢洲開発と膨らむ財政負担
- ・夢洲リスクと「大阪府市一元化」策動

ここ数年、大阪湾の人工島「夢洲」での大規模開発、とりわけ万博とIR誘致に警鐘を鳴らしてきたが、それを短期間にまとめたものである。長年にわたりウォッチしてきた愛知万博の経験、大阪での市民団体での活動、パブリックコメントなどをもとに書きあげた。3月頃に共著として刊行される予定だが、また紹介したい。

こんな事情により、年末から年始にかけて原稿書きに集中した。晴天の2日、あべのハルカスから茶臼山「登山」に出かけた。ほどよい気分転換になった。

正月の楽しみは、美味しい酒と肴である。写真は近所の商店街にある「高級鮮魚店」。いつもお世話になっている。大晦日の朝早く行ったが、狭い店内は超満員。マグロ柵、タコやイカを買った。スーパーで買うより安く、とにかく美味しい。昔から刺身、なかでもマグロが好物で、「常連さん」になった。



近所にこんなお店があるのは嬉しいかぎりだ。鮮魚店近くのお米屋さんも、定期的にご利用している。空き店舗も目立つが、近所の下町商店街に通いつづけたい。

(2022年1月12日)